

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	インターンシップ		
英文授業科目名	Internship		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	上野 芳康		
居室	西2-310		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ueno@ee.uec.ac.jp	<a href="http://www.edu.cc.uec.ac.jp/~ueno/classes-tmp.html">http://www.edu.cc.uec.ac.jp/~ueno/classes-tmp.html</a>

【主題および達成目標】

インターンシップは、本学が一般民間企業・事業所等の協力を得て、以下の目的と意義を重視して行なうものです。1. 技術社会の実際に対する関心と興味を深める。2. 将来の技術者としての心構えと抱負を養う。3. 知識と実際の技術の関連、信頼性と安全性などについて体得する。4. 人的協力の必要性和、自立した技術者の在り方を考える貴重な機会とする。5. 実習体験を通して大学教育の意義を改めて理解し、卒業後の進路の指針とする。

【前もって履修しておくべき科目】

殆どの場合コンピュータリテラシーは必須です。また3年前学期までの専門科目を多く履修しておく、学んだことと企業や事業所での研修テーマとの関連性と実感を得やすいと期待されます。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】

4月中旬または下旬にガイダンスが行われ、その際にインターンシップ実施に関する資料が配布されま  
す。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

1. インターンシップの履修要項(1) 平成16年度のインターンシップは、原則として3年次の夏期休業中に行う。(2) 期間は、4週間、90時間以上とする。ただし、日数は短縮することがある。(3) インターンシップを希望する者は、「インターンシップ願」を提出して許可を受けなければならない。(4) インターンシップ期間中は、実習先の諸規定および監督者等の指示に従う。(5) インターンシップ終了後速やかに、「インターンシップ報告書」(A4用紙数枚にまとめたレポート)を作成、提出する。2. インターンシップの条件(1) 実習先は、日程、通勤、スキルに対する実習先の希望、教育的効果等を考慮して教官が決定する。(2) 交通費と昼食代は、実習先から支給されるが、日当は支給されない。(3) 通勤不可能な距離にある実習先の場合は、実習先が宿舎を準備する場合がある。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

実習先から「インターンシップ修了書」(実習先責任者による報告)を受けとります。インターンシップ修了書、インターンシップ報告書、出席状況に基づいて総合評価します。成績(2単位)は後学期に記されます。

### 【オフィスアワー：授業相談】

メールで事前にアポイントを取ること。時間帯は火曜日6限が望ましい。

### 【学生へのメッセージ】

インターンシップは貴重な機会です。インターンシップを希望する場合はその目的と意義を充分意識した上で、ぜひ積極的な姿勢で取り組んで欲しい。インターンシップを終えた後、就職や進学の心構えの大きなプラスになれば、大成功です。就職・進学活動に近づきつつある3年の夏休みに、是非チャレンジして欲しいものです。なお企業への応募や実施に当たっては、共同研究センターの担当者の指示によく従って下さい。共同研究センターの担当者： 中野 喬 客員教授 および 小峯 名保美氏共同研究センター2階201号室、電話0424-43-5778、電子メール [intern@crc.uec.ac.jp](mailto:intern@crc.uec.ac.jp)

### 【その他】